

JR尼崎事故9ヶ年弾劾！

労働組合が闘って命と安全を守ろう！

四月十九日、尼崎事故弾劾！四・一九全国総決起集会がJR尼崎駅前で開催されました。集会には動労千葉や国労の闘争団などJRで闘う仲間や、港合同や関西生コン支部をはじめ、関西の闘う仲間など、全国から三六〇名が参加していました。支部では、この日の午前中にメーデーの横断幕の色塗りを行って、昼食の後、車に分乗して現地へ向かいました。集会は、主催者挨拶の後、基調報告が動労西日

本からあり、被災地からは国労郡山工場支部と動労水戸、一〇四七名闘争からは各地の闘争団員と続き、決意表明、まとめの後、事故現場までデモ行進しました。

主催の国鉄闘争全国運動・関西準備会を代表して港合同から中村委員長が挨拶を紹介します。

▼発言要旨

尼崎事故から何年もたつのに事故が頻発している。鉄道事業者としてのモラルが問われるようなことが頻発している。素

人でもそれはあかんと分かるようなことを商業誌でも言わざるを得ないようなJRの犯罪的行為だ。しかし、皆さんの闘いでこれらが浮き彫りになっ



た。労組を分断し、国鉄がJRに移行した。JRは労働者を労働者と思わず、利益だけを求めているのが分割・民営化だ。分割・民営化は間違いだ。市民の足は赤字でも確保しなければならぬ。

大阪では橋下市長が大変な権利侵害を行っている。地下鉄・バスを民営化させると息巻いているが、労働者の闘いで当初の構想は挫折した。この間の無駄な選挙は選挙になっていない。彼のトーンも毎日のように勢いが下がっている。

それも職場の労働者がアンケートを拒否する、六名が処分に対し人事委

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



10万筆署名の力で解雇撤回判決かちとろう

国鉄闘争 6.8全国集会
 6月8日(日)午後1時(正午開場)
 東京・文京シビックホール

安倍政権による改憲と戦争 総非正規化攻撃と闘おう!

国鉄闘争 6.8全国集会の開催地は、東京・文京シビックホールです。会場は、文京区本町2丁目1番1号、シビックホールです。開催時間は、6月8日(日)午後1時(正午開場)です。参加費は、無料です。申し込みは、下記までお願いします。

申し込み先：国鉄闘争 6.8全国集会事務局
 〒112-8555 東京都文京区本町2丁目1番1号 シビックホール
 TEL: 03-3828-1111 FAX: 03-3828-1112
 E-MAIL: 68@kokuetsu.org

主催：国鉄労働組合 国鉄労働組合連合会 国鉄労働組合各支部 国鉄労働組合各分会 国鉄労働組合各支部連合会 国鉄労働組合各分会連合会 国鉄労働組合各支部連合会連合会 国鉄労働組合各分会連合会連合会 国鉄労働組合各支部連合会連合会連合会 国鉄労働組合各分会連合会連合会連合会

員会や裁判で闘っている。この闘いが労働者を権利に目覚めさせた。たった六人の闘いが大阪全体の運動を引き上げている。安倍政権は戦後われわれが守ってきた憲法を力づくで奪い去ろうとしている。これは戦争への一歩だ。

五月一日、港合同はJAMと訣別して以降、地元で地域メーデーとして行ってきた。今年のスローガンは「解釈改憲・貧困にNO!」「戦争をする国づくり許すな!」。労働者が平和に暮らすためには、戦争をやめさせる責任が私た

ちにある。皆さんの日々の職場での奮闘が最低限の状態を守っている。それを誇りにし自覚して、ともに頑張りたい。二〇〇五年の尼崎事故は労働組合を解体して、民営化や外注化、その下

で非正規雇用化を進めることが何をもたらすか、衝撃的に示しました。相次ぐ悲惨な大事故や事件がそれを証明しています。労働組合が闘わなければ労働者の命も安全も守れない、この原点を再確認しよう!

昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!